

遠 3
2378
59

天保八年六月廿一日

黒田
三平

以上... 山ノ中... 城中... 命簿... 壁... 草木... 夫... 眼前... 岐道... 文化

語云。富貴天小あり。死生命あり。後夫天の聴さる富貴...
謀る。悪をさるとりの命小あり。ざるの死をさるること。壁。風小...
逆く灰を撒せ。その灰。悉己が身小かるが如し。亦彼。修善の士...
命簿。沈淪もとも。天運。循環。子孫。終小。繁。日。回。...
壁。草木。黃。落。と。い。ども。春。小。至。く。花。は。死。子。と。締。が。如。し。...
と。も。凡。夫。怡。と。あ。ら。む。と。疑。猿。水。月。と。採。の。悔。一。盲。衆。盲。と。引。の。悟...
只。眼。前。の。利。小。誘。色。と。身。後。の。羞。を。さ。る。事。小。似。と。ん。故。小。楊。子...
の。岐。道。小。哭。し。墨。子。の。練。絲。小。泣。と。豈。絨。ぞ。ん。や。豈。絨。ぞ。ん。や...

文化 丙寅の秋... 己卯の正月...

曲亭馬琴謹識



十七夜
 降軍
 打捨
 夜を
 取合
 取捨
 出
 何
 乙
 甲
 と



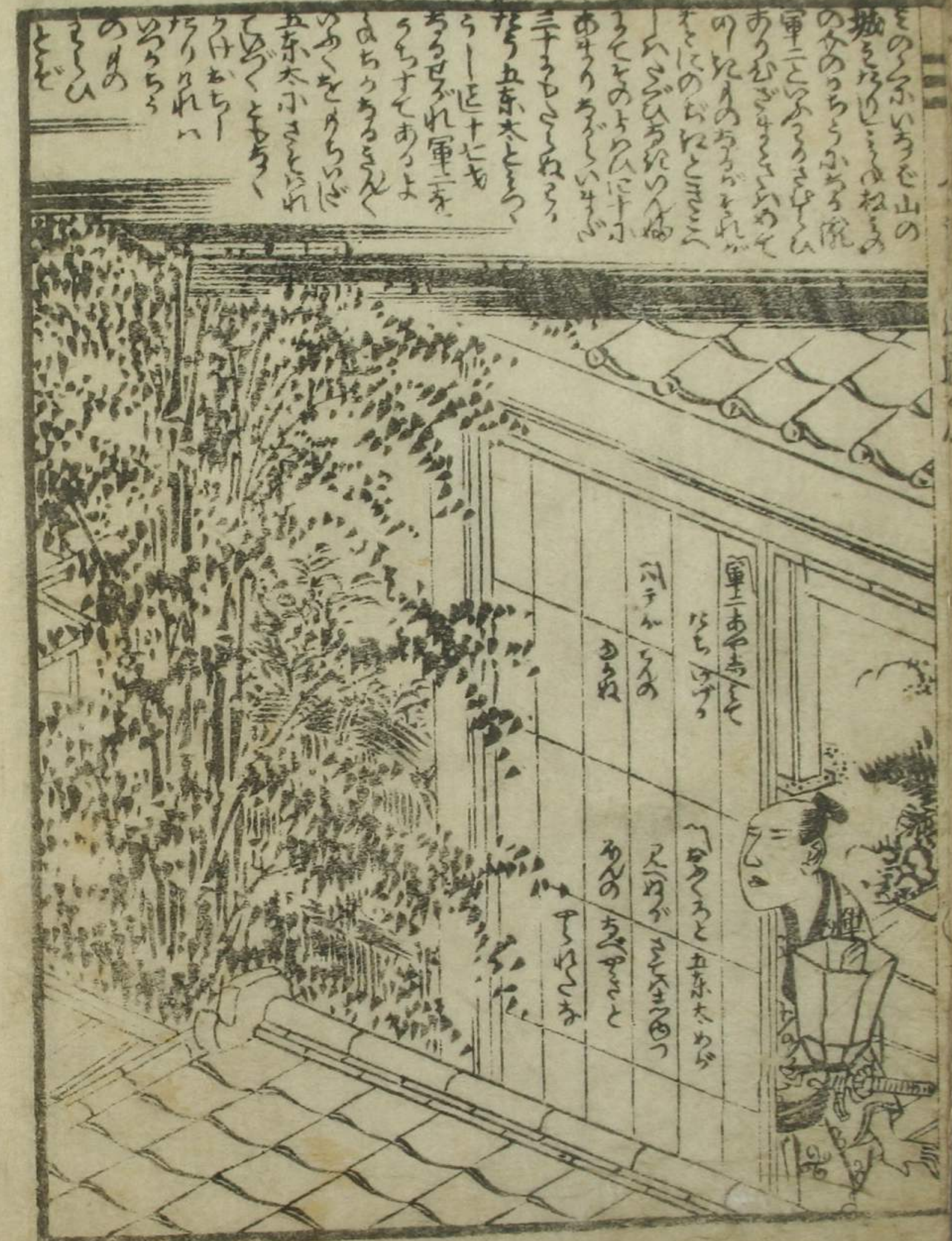
軍二
 のら
 とら
 五
 と

あ
 の
 ち

あ
 の
 ち

あ
 の
 ち

十七夜
 降軍
 打捨
 夜を
 取合
 取捨
 出
 何
 乙
 甲
 と



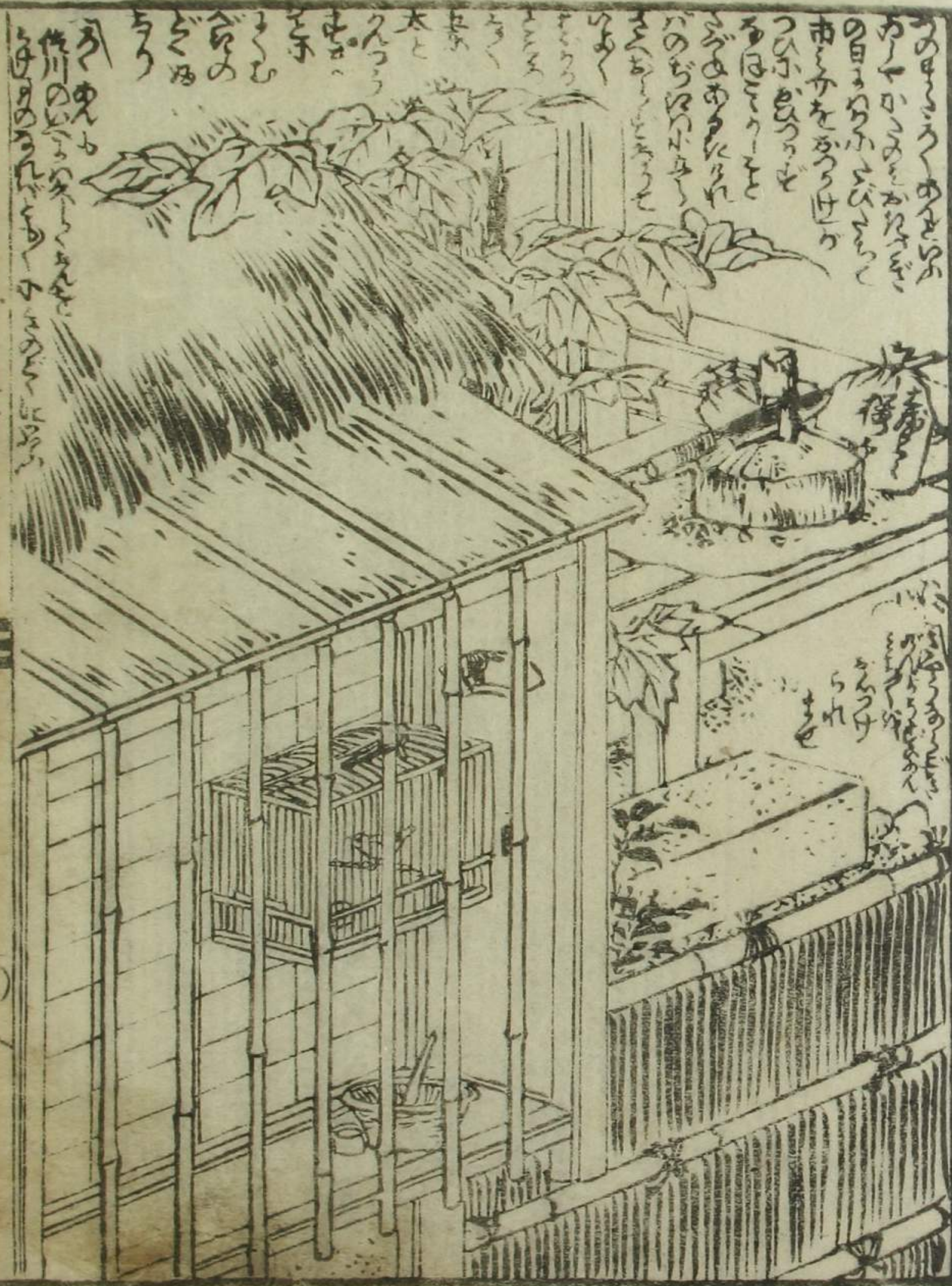
軍
 の
 ち

あ
 の
 ち

あ
 の
 ち

あ
 の
 ち

茶屋



依川の中よりあふ
 けはりのちびり
 まくらんれん
 ひよりをあら
 市をかをあら
 曲せしと
 かくむら
 あひまうれ
 あひまうれ
 あれがこ
 てら
 さ
 さ
 あ
 い
 あ
 志のが
 う
 どの
 せん
 を
 かね
 ち
 ま
 ち

茶屋



依川の中よりあふ
 けはりのちびり
 まくらんれん
 ひよりをあら
 市をかをあら
 曲せしと
 かくむら
 あひまうれ
 あひまうれ
 あれがこ
 てら
 さ
 さ
 あ
 い
 あ
 志のが
 う
 どの
 せん
 を
 かね
 ち
 ま
 ち

依川の中よりあふ
 けはりのちびり
 まくらんれん
 ひよりをあら
 市をかをあら
 曲せしと
 かくむら
 あひまうれ
 あひまうれ
 あれがこ
 てら
 さ
 さ
 あ
 い
 あ
 志のが
 う
 どの
 せん
 を
 かね
 ち
 ま
 ち

市川新太夫



市川新太夫の
 名はよく知られ
 るが、その
 才力もまた
 すぐれたる
 ものである
 といふことが
 此の演目
 からもよく
 知られる
 ことである

この演目
 は、新太夫
 の才力を
 十分に
 示して
 いるもの
 である
 といふ
 ことが
 知られる
 ことである

この演目
 は、新太夫
 の才力を
 十分に
 示して
 いるもの
 である
 といふ
 ことが
 知られる
 ことである

市川新太夫



市川新太夫の
 名はよく知られ
 るが、その
 才力もまた
 すぐれたる
 ものである
 といふことが
 此の演目
 からもよく
 知られる
 ことである

この演目
 は、新太夫
 の才力を
 十分に
 示して
 いるもの
 である
 といふ
 ことが
 知られる
 ことである

この演目
 は、新太夫
 の才力を
 十分に
 示して
 いるもの
 である
 といふ
 ことが
 知られる
 ことである

新編 源氏物語

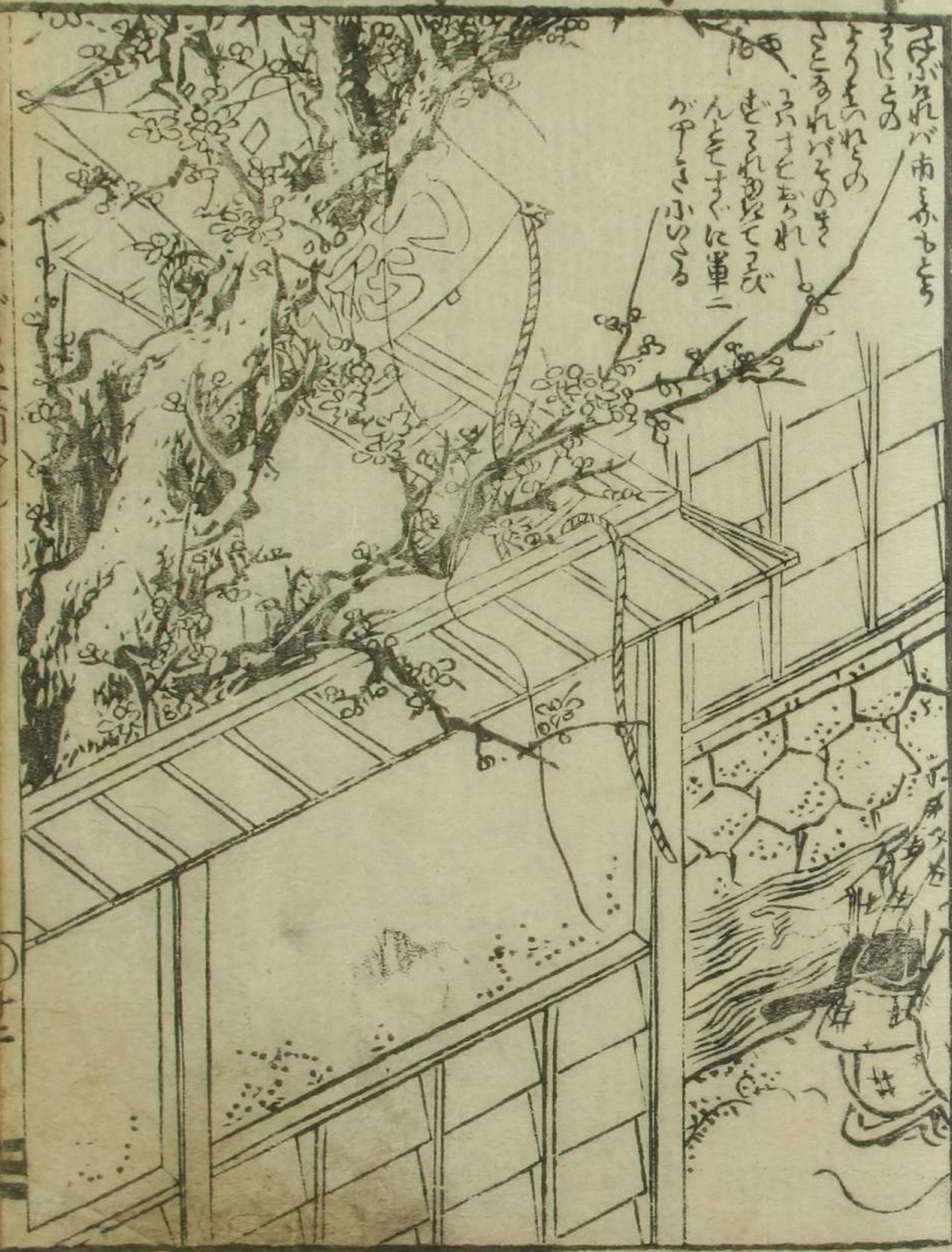
立音てかこりよりむかひも
 一絶らまれりてつゆらぬも
 小のをわくゝあまもしもも
 うちまはらむまはらむも
 心のまはらむまはらむも
 市のかりとのよりおのりあ
 のまはらむまはらむも
 まりのこれあまけて
 らのまはらむまはらむも
 多れりのまはらむも
 とごろあまあ
 一絶らまれり
 中まのまはらむ
 軍二がふりの木の
 おのりけりか
 されどもこれされが
 かくらぬあまらぬも
 りひなれども軍二がふり
 るもあまらぬまはらむも
 つたぬおのりも市のかり
 らるまはらむまはらむも
 よりありまはらむも
 らる小あひぬ
 立音てかこりよりむかひも



立音てかこりよりむかひも

立音てかこりよりむかひも

源氏物語



立音てかこりよりむかひも
 一絶らまれりてつゆらぬも
 小のをわくゝあまもしもも
 うちまはらむまはらむも
 心のまはらむまはらむも
 市のかりとのよりおのりあ
 のまはらむまはらむも
 まりのこれあまけて
 らのまはらむまはらむも
 多れりのまはらむも
 とごろあまあ
 一絶らまれり
 中まのまはらむ
 軍二がふりの木の
 おのりけりか
 されどもこれされが
 かくらぬあまらぬも
 りひなれども軍二がふり
 るもあまらぬまはらむも
 つたぬおのりも市のかり
 らるまはらむまはらむも
 よりありまはらむも
 らる小あひぬ
 立音てかこりよりむかひも

立音てかこりよりむかひも

立音てかこりよりむかひも

市川小太夫の... 市川小太夫の... 市川小太夫の...



市川小太夫の... 市川小太夫の...

市川小太夫の...



市川小太夫の...

市川小太夫の...

市川小太夫の... 市川小太夫の...

後編 三冊



佐川治秋は昔も
 後編 小島治秋の
 市本郎の
 市本郎の
 市本郎の
 市本郎の

佐川治秋は昔も
 後編 小島治秋の
 市本郎の
 市本郎の
 市本郎の
 市本郎の

曲亭馬琴作

前へ



昔もハカシマンの
 川を四五里が
 何合をへて
 公尾越川
 されり命
 されり命
 一目を
 老あらぬ
 のふと
 のふと
 大い
 と
 今
 日本
 へ
 軍
 と

これより
 佐川治秋
 市本郎
 打

馬琴作



...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...



...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

お茶屋の騒動



あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市...

お茶屋の騒動



あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市... あつちの市...

五木木のすでふいをさした
 ちくくまひくはこころの
 かくのひをふふえりこと
 とうらんとてゆこうと
 えろにちうごろの大
 ありありとれをこ
 ろんとととるあどお
 くつておれいふかおれ
 とれろさすうあうと
 よろこびいちうさ
 小ておれがさあま
 らんのおえあ
 つたおとこえよりつちを
 みるれどもせうくのつ
 ちめていさつていさつ
 へぐおのちねんさの
 志をまもあはれれら
 むつちをいぢめん小
 ありて人のあ
 がるちにてら
 つひふれたらぢ小
 一とせうりゆと
 さけいこちりれが
 中よは流林かあるは



天小
 ひが
 うつ
 なが
 まつ
 なが
 まつ
 なが
 まつ

せしぐさつとま
 一を軍ニのち
 があつてふぢす
 小正ありぬと
 わたてま
 けり
 くらまうひり
 すべての三人か
 ありまや
 ん小のあ



風あれる
 うるた
 市
 えあ
 けあ
 ら
 ら
 ら
 ら



あつた軍二りのむし
 のさけあてこちま
 してひそろふよろこ
 りの小舟つわがた
 のむらぬのりさぬあり今
 音てんがせりウひ小
 舟たれ又さつて
 かわこそまひさるれ
 ずつ小舟さこち
 音てんがせりウひ小
 舟たれ又さつて
 とのくねらぬさや
 せん月のさこち
 らむらぬあてり
 のりげうりあつたれ
 まひ小舟つわが
 よびむしあちち
 かんまぬりやつた
 軍二つがまのち
 んどにりあつた
 ちのめけのあつた
 ほのら小舟つわ
 ちうこちりひふ
 あかひのねら小
 らんぬんあつた



音てんがせり
 ウひ小舟たれ
 又さつて
 かわこそまひ
 さるれ
 ずつ小舟さこ
 ち
 音てんがせり
 ウひ小舟たれ
 又さつて

つれが小舟つわ
 せうとねらあ
 あつた
 うらたれ
 ちうこちりひ
 ふ
 あかひのねら
 小舟つわが
 らんぬんあつた

音てんがせり
 ウひ小舟たれ
 又さつて
 かわこそまひ
 さるれ
 ずつ小舟さこ
 ち



此の事... (vertical text column on the right side of the page)

○墨田川梅柳新書
... (text at the bottom right of the page)



此の事... (vertical text column on the right side of the page)

○墨田川梅柳新書
... (text at the bottom right of the page)



文化六年己巳新刻繪草紙

前之巻 奉行記 勸善辻談議 全部山東京傳作 歌川豊国画

因縁物語 躰草娘連訓 全部山東京山作 八册歌川豊国画

五大切 其後日三伍大切 全部山東京山作 五册歌川国貞画

戀女房 離討双六 全部歌川豊国画 六册歌川豊国画

播州鹿見川 歌討爰高砂 全部歌川国貞画 六册歌川国貞画

楚滿物語 儂家花合巻 全部歌川国貞画 古人楚滿人作 歌川国貞画

草紙 江戸高砂町 柴間屋 伊賀屋勘五郎門板

馬琴作



文化三年八月上旬作同四年正月發行 通町 板

德書

麻馬屋

永吉

祥
江
海
文
經
所